

公益財団法人日本水泳連盟アーティスティックスイミング委員会
2020 FINA AS 公認 G ジャッジの育成および推薦について

1. 目的

(公財) 日本水泳連盟アーティスティックスイミング委員会は、日本代表選手強化の一端を担う次世代ジャッジを育成し、要件を満たした者を FINA AS 公認ジャッジとして FINA へ推薦する。

2019年1月～2019年10月末の期間、国内外で開催される FINA AS 育成スクール【上級】を受講し、合格した者のうち、上位者を 2020 FINA AS 公認 G ジャッジとして (公財) 日本水泳連盟から FINA に推薦する。FINA AS 育成スクール【上級】を受講するには、下記3の条件を満たしていなければならない。

2. 2020 FINA AS 公認 G ジャッジの育成および推薦手順

・下記の1)～5)の流れで推薦する。

- 1) 本事業の説明会に参加し(任意)、FINA AS 育成スクール【上級】受講条件を確認する。
- 2) FINA AS 育成スクール【上級】受講資格認定を申請する。
- 3) FINA AS 育成スクール【上級】受講資格が認定された者は、FINA AS 育成スクール【上級】を受講する。
- 4) FINA AS 育成スクール【上級】を受講し、合格した者のうち、上位者若干名を 2020 FINA 公認 G ジャッジとして (公財) 日本水泳連盟から FINA に推薦する。
- 5) FINA が認めた場合、2020 FINA AS 公認 G ジャッジリストに掲載される。
- 6) FINA 規定に則り、2020 FINA AS 公認 G ジャッジ認定後、FINA AS 資格認定スクールを受講し、合格した場合、国内外において FINA AS 公認ジャッジとして活動できる。不合格の場合は、FINA AS 公認ジャッジリストから削除される。

3. FINA AS 育成スクール【上級】受講条件

アーティスティックスイミングに関する知識及び高い倫理観を有し、原則として受講申し込み時に 25 歳以上 60 歳未満で、通算 5 年以上のアーティスティックスイミングのジャッジ経験があり、かつ現在も当該ジャッジ活動等に携わっている者のうち、以下の全ての項目に該当する者とする。

- 1) (公財) 日本水泳連盟倫理規定に則り、その名誉を尊重できること
- 2) コミュニケーションツールとして英語能力を有すること
- 3) (公財) 日本水泳連盟アーティスティックスイミング委員会強化方針およびその活動に、国内外を問わず積極的に協力できること
- 4) ジャッジングに関する学びを継続して実践する意識及びアーティスティックスイミングを通じた人材育成(成長)と審判活動に対する熱意を有していること
- 5) 国内ジャッジの模範となるべく、FINA AS 公認ジャッジの役割を意識した審判活動及び委員会活動を継続して実践力を高めることが可能であること
- 6) 審判研修会および審判長派遣事業に講師もしくは審判長として協力できること
- 7) FINA AS 育成スクール【上級】に参加が可能であること
- 8) 資格取得・維持に関する最低限の自己負担(保険付保等含む)を厭わないこと
- 9) (公財) 日本水泳連盟公認アーティスティックスイミングジャッジ A 級取得 4 年以上経過していること

10) (公財) 日本水泳連盟公認全国大会でのジャッジ経験が、少なくとも 8 回以上あること

なお、日本代表選手または日本代表コーチ等を経験した者は、上記 9)、10) を満たしていなくとも特別に認められる場合がある。

4. 本事業説明会 (参加は任意)

本事業の説明会を下記要領で実施する。

日時： 2018 年 9 月 23 日 (日) (コーチキャンプ終了後 16:30 予定)

場所： JISS 研修室 AB (予定)

申込： メール件名に「2020 FINA AS 公認 G ジャッジの育成および推薦事業説明会」と明記し、テキスト欄に氏名、連絡先 (メールアドレス、携帯電話番号) を記載の上、下記宛て 9 月 21 日までにメールで申込む。

申込先 yukist20@gmail.com 齋藤由紀

5. FINA AS 育成スクール【上級】受講資格認定の申請

上記 3 の FINA AS 育成スクール【上級】受講要件を満たし、2020 FINA AS 公認 G ジャッジ連盟推薦を希望する者は、受講資格認定申請書に必要事項を記入し、下記まで申込む。

提出先： (公財)日本水泳連盟 AS 委員会 ITO 育成プロジェクト

提出期限： 2018 年 10 月 15 日 (月)

認定の通知： FINA AS 育成スクール【上級】受講資格の認定可否は、2018 年 10 月末までに個別にメールにて連絡する。

6. FINA AS 育成スクール【上級】の受講

2019 年 1 月～2019 年 10 月末の期間、国内外で開催される FINA AS 育成スクール【上級】を受講する。

FINA AS 育成スクール【上級】受講資格認定者が多数の場合は、(公財) 日本水泳連盟アーティスティックスイミング委員会が FINA に FINA AS 育成スクール【上級】の日本開催を申請する。開催日程は 2019 年 1 月～3 月の週末 3 日間を予定。

日本開催が見込めないとき、もしくは個々の事情で日本開催のスクールに参加ができないときは、個別に FINA AS 育成スクール【上級】開催情報を収集し、2019 年 10 月までに受講する。

なお、いずれの場合も受講に係る経費 (交通費・宿泊費等) は本人負担とする。

7. 2020 FINA 公認 G ジャッジの推薦

FINA AS 育成スクール【上級】を受講し、合格した者のうち、上位者若干名を 2020 FINA AS 公認 G ジャッジとして (公財) 日本水泳連盟から FINA に推薦する。FINA が認めた場合、2020 FINA AS 公認 G ジャッジリストに掲載される。FINA 規定に則り、2020 FINA AS 公認 G ジャッジ認定後、FINA AS 資格認定スクールを受講し、合格した場合、国内外において FINA AS 公認ジャッジとして活動できる。不合格の場合は、FINA AS 公認ジャッジリストから削除される。

以上

FINA ITO パスウェイ (資格取得方法)

1. FINA AS ITO 資格取得のための要件

スクール名称	FINA AS 育成スクール【上級】	FINA AS 資格認定スクール
1) 参加者数	10名～30名 (30名以下の場合オブザーバーを認める ※1)	10名～30名 (30名以下の場合オブザーバーを認める ※1)
2) 申し込み方法	FINA GMS に申し込み承認された者	FINA GMS に申し込み承認された者
3) 講師	FINA TASC 公認講師	FINA TASC 公認講師
4) 年齢	18歳～65歳 (スクール開始時に)	18歳～65歳 (スクール開始時に)
5) 対象	FINA AS リストジャッジを目指す者	FINA AS リストジャッジ
6) 言語	英語 (最低限のコミュニケーション能力を有する)	英語
7) 参加状況	<p>全日程(3日間)に参加し、査定(テスト)を受験する事 <講義内容></p> <p>① FINA AS 規則(2017-2021) ② フィギュア (減点を含む) ③ テクニカルエレメンツ ④ ルーティン(TR, FR) ⑤ ディフィカルティ・アーティスティックインプレッションの分析 ⑥ ハイライトルーティン ⑦ 最新の世界選手権よりルーティンを分析する ⑧ ジャッジの倫理について話し合う (利益相反の公表の重要性)</p> <p>～別表参照～ <テスト></p> <p>① テスト 85点以上取得で合格、公認スクール受講資格を得る ② 紙辞書のみ持ち込み可、不正行為の場合懲戒処分とする</p>	<p>全日程(3日間)に参加し、査定 (テスト) を受験する事 <講義内容></p> <p>① FINA AS 規則(2017-2021) ② フィギュア (減点を含む) ③ テクニカルエレメンツ ④ ルーティン(TR, FR) ⑤ ディフィカルティとアーティスティックインプレッションの分析 ⑥ ハイライトルーティン ⑦ レフリーの責務 ⑧ 倫理 ⑨ FINA AS ジャッジ・コーチ・レフリーマニュアル(2017-2021)</p> <p><テスト></p> <p>① A級は85点以上、G級は80点以上 ② 紙辞書のみ持ち込み可、不正行為の場合懲戒処分とする</p>
8) その他	①FINA 倫理コードを順守する事	①FINA 倫理コードを順守する事
	②あらゆる不慮の事故に対し付保を強く推奨する	②あらゆる不慮の事故に対し付保を強く推奨する
9) 取得資格	FINA AS 資格認定スクールの参加資格を得る	FINA 主催国際大会でジャッジとして活動できる
	※2	※3

※1 定員に満たなかった場合、コーチは受験資格は無いがオブザーバーとして参加できる。その場合スクール終了後 30 日以内に FINA AS コーチ委員会にレポートを提出し将来へ役立てる事とする。

※2 FINA AS 育成スクール【上級】で 85 点以上を取得した参加者のみが、FINA 指定の方法にて期日までに手続きを完了した場合、FINA AS 資格認定スクールに参加できる。

ただし、下記の要件を満たすナショナル代表選手(引退した者)、ナショナルコーチはこれに限らない

- ・少なくとも 3 年間異なる年齢区分を含む国レベルの顕著なジャッジ活動のある者
- ・所属する加盟国での国際大会でジャッジする者
- ・少なくとも 3 年間、エバリュエーターからの高いエバリュエーションを受けジャッジング能力を証明された者

※3 FINA 大会でジャッジするためには、少なくとも 1 回/4 年の FINA TASC 主催資格認定スクールに参加しテストに合格する事 (FINA 講師は例外)

FINA エバリュエーターは、少なくとも 1 回/4 年の FINA TASC 主催資格認定スクールに参加しテストに合格する事 (FINA 講師は例外)

テストに合格しなかった場合、次の年の 10 月 31 日までに 2 回目の受験する機会を認める。再試験を受験する場合、スクール全日程に参加しても受験のみでも良い。

もし、FINA AS ジャッジが 85 点以上取得できなかった場合、かつ 80 点以上取得した場合 G ジャッジに降格される。2 回のチャンスとも 80 点を取得できなかった場合、リストから除外される。尚、G ジャッジは各国 5 名までとする。

別表 FINA 育成スクールにおける履修内容

A グループ フィギュア

単位 1 基本姿勢と基本動作

単位 2 FINA フィギュア 12 歳以下

単位 3 FINA フィギュア 13-15 歳

単位 4 FINA フィギュア エージグループ

単位 5 フィギアの詳細分析 (DD、NVT)

B グループ ルーティン

単位 1 テクニカルな構成要素の紹介

単位 2 エクスキューションとシンクロナイゼーション

単位 3 ディフィカルティ

- 単位4 アーティスティックインプレッション
- 単位5 アーティスティックインプレッションの分析
- 単位6 テクニカル規定要素
- 単位7 アクロバティック動作
- 単位8 フリールーティンコンビネーションとハイライトルーティン

C グループ 採点

- 単位1 フィギュア採点の基礎：採点基準の要素
- 単位2 採点基準の使用展開、フィギュアにおける高さとスプリット
- 単位3 フリールーティンの基本的採点：カテゴリ
- 単位4 テクニカルメリット採点
 - ：エクスキュージョン・シンクロナイゼーション・ディフィカルティー
- 単位5 アーティスティックインプレッション採点
 - ：構成・音楽の使用・プレゼンテーション
- 単位6 テクニカルルーティン採点
 - ：エレメンツパネル・インプレッションパネル・エクスキュージョンパネル
- 単位7 アクロバティック動作採点への取り組み
- 単位8 フリーコンビネーションとハイライトの採点

D グループ レフリー／チーフリコーダー

- 単位1 1単位

E グループ 倫理

- 単位1 1単位